

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 茂
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員 管理部門長 (氏名) 山根 清文 (TEL) 078-861-7791(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,298	3.7	△306	—	△316	—	△211	—
26年3月期第2四半期	16,686	1.7	124	105.9	54	—	△15	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △36百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △201百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△27.50	—
26年3月期第2四半期	△2.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,224	7,451	36.0
26年3月期	19,327	7,569	38.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,276百万円 26年3月期 7,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,993	6.9	141	△49.2	55	△76.4	11	△92.8	1.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,000,000株	26年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	291,711株	26年3月期	291,711株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	7,708,289株	26年3月期2Q	7,708,289株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による個人消費の低迷が続き、また、国際情勢はユーロ圏の成長鈍化により、先行き不透明な状況が続いております。

当社の主力マーケットである食品業界におきましても、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順による需要減退の影響により、厳しい経営環境が続きました。

また、コーヒー業界におきましても、コーヒー生豆相場の変動や為替相場における円安の進行もあり予断を許さない状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力の強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業の拡大として「新規事業の発掘・新商品の開発」「新規顧客の開拓」「海外事業の拡大」に努めてまいりましたが、当第2四半期連結累計期間では、その成果をあげることができませんでした。

売上高は17,298百万円（前年同期比3.7%増加）となりましたが、コーヒー生豆相場の高騰および原料高・円安によるコスト上昇は利益に大きく影響し、また、物流コストの増加等により営業損失は306百万円（前年同期は124百万円の営業利益）、経常損失は316百万円（前年同期は54百万円の経常利益）、四半期純損失は211百万円（前年同期は15百万円の四半期純損失）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

① コーヒー・飲料部門

1) コーヒー生豆

コーヒー生豆相場は高値圏で推移し、為替相場も円安となり、仕入価格の上昇は利益について厳しい状況となりました。

主要取引先への販売はプレミアムコーヒーを中心に販売拡大は進み、売上高および販売袋数は前年同期と比べ増加いたしました。

その結果、コーヒー生豆の売上高は前年同期比19.0%増加いたしました。

2) コーヒー加工品

インスタントコーヒーは、引き続き厳しい販売競争により原料用バルクが減少いたしました。レギュラーコーヒーは、前期からの家庭用・業務用の販売強化が進み、焙煎豆およびコーヒーバッグが順調に推移いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比10.3%増加いたしました。

3) 飲料事業

飲料原料は、ナタデココが引き続き好調であり、その他の飲料原料も順調に推移したことにより、売上高は前年同期比49.5%増加いたしました。

茶類は、紅茶・穀物茶が厳しい販売競争により減少し、売上高は前年同期比28.7%減少いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は前年同期比11.2%減少いたしました。

これらの理由によりコーヒー・飲料部門の売上高は5,558百万円（前年同期比9.5%増加）となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、加工メーカー向けの販売活動が実り、売上高は前年同期比5.1%増加いたしました。

イタリアからの輸入食品は、パスタが厳しい販売競争により減少いたしました。トマト、オリーブオイル製品の販売が拡大できたことにより、売上高は前年同期比0.2%増加いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比19.0%減少、冷凍食品の売上高は前年同期比8.5%減少いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比10.2%減少いたしました。

2) 水産および調理冷蔵

水産は、主力商品であるエビの販売は堅調に推移いたしました。タコ加工品の販売が減少したことにより、売上高は前年同期比4.6%減少いたしました。

調理冷蔵は、惣菜メーカーへ鶏加工品の販売が引き続き好調で、タイ産鶏生肉の販売も進み、売上高は前年同期比41.3%増加いたしました。

その結果、水産および調理冷蔵の売上高は前年同期比7.9%増加いたしました。

3) 農産

生鮮野菜は、玉葱および梅の販売が引き続き好調に推移したことにより、売上高は前年同期比22.6%増加いたしました。

加工品は、筍および蓮根等の惣菜原料ならびに唐辛子の販売が順調に拡大したことにより、売上高は前年同期比15.3%増加いたしました。

その結果、農産の売上高は前年同期比18.7%増加いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は10,174百万円（前年同期比1.9%増加）となりました。

③ 海外事業部門

酒類の販売強化およびコーヒーバッグの新規輸出等もありましたが、アジアにおける厳しい販売競争の影響により、海外事業部門の売上高は1,564百万円（前年同期比3.9%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は20,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ896百万円の増加となりました。これは主に現金および預金の減少に対し、売上債権およびたな卸資産の増加によるものであります。

負債合計は12,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,014百万円の増加となりました。これは主に仕入債務および借入金の増加によるものであります。

純資産合計は7,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円の減少となりました。これは主に繰延ヘッジ損益の増加179百万円に対し、配当金の支払い77百万円および当第2四半期連結累計期間の四半期純損失211百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年8月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、今後修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,839,484	1,653,047
受取手形及び売掛金	6,240,996	6,732,338
商品及び製品	3,723,843	3,987,979
未着商品	1,337,952	1,224,862
仕掛品	11,381	13,112
原材料及び貯蔵品	69,797	78,616
その他	310,021	706,194
貸倒引当金	△14,373	△9,424
流動資産合計	13,519,104	14,386,725
固定資産		
有形固定資産	2,709,586	2,668,904
無形固定資産	75,175	76,642
投資その他の資産		
投資有価証券	2,606,526	2,639,539
その他	493,285	527,828
貸倒引当金	△79,479	△77,701
投資その他の資産合計	3,020,332	3,089,666
固定資産合計	5,805,095	5,835,213
繰延資産	3,252	2,141
資産合計	19,327,452	20,224,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,129,198	3,280,315
短期借入金	1,772,000	2,069,000
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	1,559,200	1,611,000
未払法人税等	19,625	11,761
賞与引当金	97,747	100,032
その他	1,156,248	1,244,660
流動負債合計	7,874,019	8,456,769
固定負債		
社債	230,000	160,000
長期借入金	2,875,200	3,378,100
退職給付に係る負債	107,080	117,933
その他	671,535	659,918
固定負債合計	3,883,816	4,315,951
負債合計	11,757,836	12,772,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,402,590	6,113,563
自己株式	△107,415	△107,415
株主資本合計	7,275,375	6,986,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,786	66,497
繰延ヘッジ損益	17,434	197,270
為替換算調整勘定	33,513	26,492
その他の包括利益累計額合計	110,734	290,260
少数株主持分	183,506	174,750
純資産合計	7,569,616	7,451,358
負債純資産合計	19,327,452	20,224,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,686,107	17,298,298
売上原価	14,633,159	15,620,994
売上総利益	2,052,947	1,677,304
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	11,435	△2,676
報酬及び給料手当	480,216	518,631
賞与引当金繰入額	127,251	88,639
その他	1,309,880	1,378,815
販売費及び一般管理費合計	1,928,784	1,983,410
営業利益又は営業損失(△)	124,163	△306,106
営業外収益		
受取利息	2,162	2,237
受取配当金	2,654	1,977
持分法による投資利益	—	8,510
受取賃貸料	11,100	9,900
その他	20,298	28,853
営業外収益合計	36,214	51,478
営業外費用		
支払利息	55,159	49,831
持分法による投資損失	35,230	—
その他	15,551	11,889
営業外費用合計	105,942	61,721
経常利益又は経常損失(△)	54,436	△316,348
特別利益		
投資有価証券売却益	165	16
特別利益合計	165	16
特別損失		
固定資産売却損	243	—
固定資産除却損	35	3,439
貸倒引当金繰入額	—	150
特別損失合計	279	3,589
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	54,322	△319,921
法人税、住民税及び事業税	19,110	7,680
法人税等調整額	57,443	△111,217
法人税等合計	76,554	△103,537
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,231	△216,383
少数株主損失(△)	△6,633	△4,438
四半期純損失(△)	△15,597	△211,944

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,231	△216,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,720	3,629
繰延ヘッジ損益	△214,086	179,836
為替換算調整勘定	16,786	△7,021
持分法適用会社に対する持分相当額	12,089	3,080
その他の包括利益合計	△179,489	179,525
四半期包括利益	△201,720	△36,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,087	△32,419
少数株主に係る四半期包括利益	△6,633	△4,438

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。